
自作小説（？）

設定資料

ネタバレ注意

XX

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

自作小説(?)

設定資料

ネタバレ注意

【Nコード】

N2852T

【作者名】

x x

【あらすじ】

自作小説(?)の設定資料

ただそれだけ

設定1 魔法について

「【幻影『ファントム』】」

影を媒体として発動

一番エグイ使い方は全く同じ場所を

何千回も何万回も切りつけて

削りきる

『一太刀で傷しか付かなければ百回切れば立派な切り傷

一億回刻んだらどうなるかは判りますよね・・・』

ちなみに影を媒体としてやるとやりやすいだけで

実質ただの魔力刀

段式詠唱

強いイメージ⇨威力高

弱いイメージ⇨威力低

長い詠唱⇨最大魔力込量高・最低必要量高・必要詠唱時間長

短い詠唱⇨最大魔力込量低・最低必要量低・必要詠唱時間短

一番短いものでは「『撃て』」「『貫け』」「『当たれ』」

だけで発動する魔力砲も有る

主人公のスペカ式詠唱は強いイメージがる

後スペカ式は威力調整が難しいのであまり出てこない予定

モンスター一覧(更新1回目)

【ウルフ】

- > 少し知能が高い狼<
- > 単体ではそれほど強くは無い<
- > だが待ち伏せをしたり奇襲したり集団で襲ってきたり非常に良く統制が取れていたりして集団では物凄い厄介<

【ホーンラビッド】

- > ランクE+<
- > 角の生えただけの兎<
- > ただし好戦的で危険<

【フェイクドラゴン】

- > ランクB-<
- > 体長5m~7m<
- > この世界で最強の種族ドラゴンに擬態化している<
- > 名前の通りドラゴンの偽者だが普通に力は強いし空も飛べる
ブレスは吐けないが十分厄介<
- > あまり好戦的な種族ではない<
- > 産卵期には卵を守るために気が立っているため近づく事なかれ<
- > フェイクドラゴンの卵は
本物のドラゴンほどではないが栄養価が高く美味<
- > その為フェイクドラゴンの卵を食べる美食家はよくいる為
その卵をとってきてほしいという依頼は多い<
- > また、普通のドラゴンは最低でもA+ランク<
- > 普通のドラゴンには味はやや劣るが圧倒的に安価で手に入るため

お祝い時に食べられる事はある<

【レッドドラゴン】

- > ランクSS+<
- > ファイアドラゴンの上位種<
- > ファイアドラゴンとは違い
ちよっかいかけない限りは何もしない<
- > 人語を理解できる<
- > カタコトだが人語を喋る事が出来る<
- > バトルジャンキーだが戦闘狂であるため強い者と戦う事は喜びである<

【ファイアドラゴン】

- > ランクS-<
- > レッサードラゴンの上位種<
- > 種族的には凶暴、よくそこらへんで暴れる<
- > 名前の通りファイヤブレスを吐ける<

【レッサードラゴン】

- > ランクA+<
- > 争いは好まないが縄張りに入られたら容赦しない<
- > ブレスを吐けるが属性は一切付いていない<
- > 他全てのドラゴンはすべてこのレッサードラゴンの上位種である<
- > 尚無属性ブレスは他全てのドラゴンも吐ける<

色々な設定（金とポーションとミステリースポットと）

【ポーション】

- > 飲むと色々な効果が現れる魔法薬の総称<
- > 最低でも2種類の薬草が必要である<
- > 傷が治ったり疲れが取れたりするのはヒーリングポーション<
- > 魔力が回復するのはマジックポーション<
- > 能力を一時的に上げる物はブーストポーション<
- > と呼ばれる<
- > また、効果によってランクもある<
- > 薬を媒体とした魔法なので副作用は基本的に無い<
- > 基本的に飲み薬である、また変な味の物が多い<

【この世界での薬草】

- > 薬草を媒体とした魔法薬、ポーションを作るための材料である<
- > 薬草のまま使っても効果はある<
- > 薬草に魔力が溜まり調合する事によりポーションが出来る<
- > 薬草の種類によって最大魔力量が変わる<
- > 強い魔物が居る場所は魔力が多く漂っている為効果が高い薬草が育つ<

- > 効果が高い薬草がそだつ場所には強い魔物が沢山いたり
- ミステリースポットだったりするため採集難易度が高い<

【ミステリースポット】

- > とにかく変な場所<
- > 有名な所では迷いの森とか不思議の洞窟とか<
- > 濃度・量、共に高い魔力が漂っている事が良くある<

銅貨1枚〓 10円

銀貨1枚〓 銅貨10枚

金貨1枚〓 銀貨100枚

宝石硬貨1個〓 100万円

魔法石硬貨1個〓 1億円

と、今居る敵国ではこうなっている

無論金なので偽造対策は施してある(魔術で)

さらに金を国の許可無く作った場合

国家反逆罪として捕らえられ処刑となる(非公式)

魔法の色々

【モンスターの換金部位がお金になる理由】

- > モンスターの換金部位はそのモンスターの魔力が良く集まる場所である<
- > ただ単純にモンスターの中で一番堅い部位である<
- > 魔法薬ポーションなどの材料となる<
- > 食べられる場合は美味しい部分だったりする<
- > 倒し辛く一体倒すごとに国から報酬が出る<
- > 等の理由で高く売れる部位である<
- > 魔力が集まる部位は魔法石の代わりとして使用可能<

【魔法とは】

- > 魔法とは世界からさずけられた魔力を使い陣などで世界に使いたい魔法を伝えてそれを世界が叶えるシステム<
- > ぶつちやけていうと 魔力≡小遣い 魔方陣≡商札 魔法≡商品である<

【魔法石とは】

- > 魔力が溜まった宝石・鉱石・ただの石である<
- > 自然に溜まった魔力では中和しあつて属性がない為少し魔法に精通していれば誰にでも使用可能である<
- > 魔力が溜まっていれば溜まっているほど価値は高い<
- > 魔法使いが魔力を込める場合もあるがその場合は属性が付いており合わない拒否反応を起こす場合がある為必ず属性表記をする<
- > 属性表記はするが入っている属性によって魔法石の色も変わるため間違える心配はあまりない<
- > だが、属性付きのモンスターが多い場所（例えば火山やその付近）

であれば
そこで取れる魔法石は属性付きである<

【魔法の属性により拒否反応が出る理由と補足】

- >一言で言ってしまうえば血液型と同じ<
- >属性の違いにより拒否反応が起きる<
- >無属性は血液型という所のO型<
- >拒否反応の症状としては
 - 第一段階：何か違和感を覚える
 - 第二段階：体の中に異物が入った感覚がある
 - 第三段階：乗り物酔いしたような感覚になる
 - 第四段階：吐き気がする
 - 第五段階：激しい熱が出たり嘔吐したりする
 - 第六段階：爆発したり内部が大変な事になって死ぬ
 - 第六段階になる量は症状が出た人の十倍の量はいる<
- >反応は属性の量と質で決まる（火<炎<焰 日）など<

- >反属性（例えば火と水）であれば属性を中和し合うが拒否反応は起きないし総合魔力量は普通に増える<
 - >近い属性（火と炎と熱や水と氷と冷氣）や増幅属性であれば（火 木・木 水or風など）であれば入れた魔力が入れられた属性に還元される<
 - >相互増幅属性も存在する（木 土など）
 - その場合は多い方が吸収する<
 - <そして木属性の人に火属性の魔力を入れた場合は魔力が一気に削られる（入れた人の魔力量の1.5〜2倍くらい）>
 - <魔力が減った場合は疲労が起きるが
- 魔法の無い世界の出身は
魔力に体の機能を依存していない為そういうことは無い>

<だが魔法のある世界の出身の方が魔力量が多いのは確か>

<ちなみに魔力は体では無く魂依存の為

風上は無い世界の出身ということになる

だが風上はある世界出身の最上級神より明らかに多い>

霧先の語る魔法などの不可思議な現象について（前書き）

設定資料

「チート？バグキャラ？生ぬるい」 1

霧先の語る魔法などの不可思議な現象について

霧先 涼だ

今回は自分なりに魔法やその他不可思議な現象を起こす方法についてまとめてみようと思う

今回は全て『魔法』『魔術』『魔力』で纏めるが他の「力」でも基本的な扱いは同じである

魔力⇨世界から授かったお小遣いみたいなもの

魔法⇨魔力によって「購入」した「現象」

魔術⇨具体的な商品名を言ったりすることでより範囲を絞った必要な物の

買い物をする事

例えば「おまけいららないから安くして」とか

特殊な能力⇨引換券や割引券、無料券など

以上、

「せめてオブラートに包め」って???

魔力を代償にして魔法を起こす

魔法は魔術を使うことでより効率よく使用する事が出来る

魔力は世界から授けられ続ける

世界を変える人材には大きな魔力や特殊な能力などが与えられたりする

ここで重要なのは世界を「変える」人材であるということ

意図的に変えようとしても魔力を与えたら「変えられない奴」には魔力などはやらんし

逆に言えば変えようとしなくたって「変えてしまっ奴」ならば魔力などは与えられる
と言うことだ

自分の見た限りランダムに配布したりRPGよろしくやったりする
所もあるが

あと最後に

魔術によって『現象』を売却し代わりに魔力を得ることも可能
だがそれにも『手数料』として魔力を消費する上に

『中古価格』であるため100%の回収は無理
頑張っても50%が限度だが現象を奪って売却すれば魔力の補充が
可能

ということも追記しておく

狭間の書記・世界の成り立ちと神について（前書き）

設定資料

「チート？バグキャラ？生温い」 2

狭間の書記：世界の成り立ちと神について

狭間の書き留めた『世界の色々』

今暇なので世界の出来方について書き留めたいと思う
経験則なども書いたりするのでかならずしもそうというわけではない

1：空白の世界を狭間が5つ創る

2：「科学の世界（魔法が無い世界）」 「魔法の世界（魔法も魔物も有る世界）」

「自然の世界（人型の生命がない世界）」 《ちなみに5の内3つはこれ》 「と割り振る

3：行く末を見守る・・・が時々飽きて時間加速やキンクリかます時がある

ここからは分かっていることだ

『世界からさらに世界が生まれる』

「生まれた世界は同じくらいの大きさになる事はあるが親より大きくなることは無い」

『「核」となる存在があると世界の方向性が定まる』

「それこそどんなものでも核になる（人間・動物・本・鉛筆・パソコン

コン・概念・などなど）」

ここからは経験則

『科学の世界からは魔法の世界が生まれることはよくあるが魔法の世界から科学の世界が生まれる事は殆どない』

「これは単純な知識の差であると思われる
科学の世界は魔法の世界を「空想」として生むが魔法の世界は科学を知らない為だと思われる」

(但し『イレギュラー(後記)』が入った場合にはその限りではない)

『魔法世界からも科学世界からも自然世界が生まれる事は有るが自然世界から魔法世界や科学世界が生まれることはない』
「上記に近い理由だと思われる(人型の生命が想像出来ない)

『イレギュラー』とは

簡単に言うと別世界から紛れ込んだ存在の事である
正式名称にすると「普通は居るはずのない別世界から紛れ込んだ者や物たち」

なんて長ったらしいので『イレギュラー』にした
イレギュラーと呼ぶが別に潰して回る訳ではない
見ていると面白いもつたいない
それに『イレギュラー』が出現した時点で『イレギュラー』

が「居る世界」と「いない世界」に分岐してそれぞれ見れるので問題ない

ちなみに霧先は最高のイレギュラーと言えるだろう

『神』とは

『神には二種類いる、創造神と信仰神である』

「創造神は私が世界を創る許可を出した者

信仰神は人間などから崇められた不確かな者であり

『ファンタジー』によく出てくる精霊などもこれに当てはまる」

（信仰神は世界の眷属である場合が多い

世界の眷属である場合の神や精霊は世界そのものに力を貸してもらっている

世界の眷属である事は知らされる場合もあれば知らされない場合もあるだろう

少なくとも私よりは伝えてると思う）

以上だ

狭間が語る「魂について」

また暇になったので書き留めておこうと思う

『魂には色々な形や色がありそれを見る事でだいたい解る』

「魂の色はその人の将来なりやすい性格を表し

魂の形はその在り方にかかわる」

（所謂「一般人」は濁った水晶玉のような魂をしている

何故なら己で見る見通す力が濁っており平凡な人生を歩むからだ

例：L I A L I の中世編の国民など）

「ちなみに霧先の魂は不定形で灰色になっている

不定形なのは在り方が決まっていないからであり

灰色なのは全ての色を内包しているからである」

（尚、透明で純粋な魂は物凄く珍しいがあまり良いものではない

何故なら周り次第で色が変わるからである

ファンタジーでよくある「純粋な魂」は濁りのない色を指す）

「魂の色と形は転生のたびに変わる

形はコロコロ変わるが色はそう大きく変わるわけではない

生まれたばかりの魂ならともかく」

「魂の色は歩んだ道筋で絵の具を継ぎ足すように少しずつ変わる」

「魂はひよんな事からポンポン生まれる

生まれたばかりの魂は純粋で透明な色だ」

そして「世界」はこの「魂」を見て『変えられる』か『変えられないか』

を判断し「力」を授ける

その他説明・良く使う用語集(前書き)

作者の自己解釈であります
ご了承ください

その他説明・良く使う用語集

時を動かすのはすごく重い

道路に車が走っているのを想像するとわかりやすいだろう

それをそれ自体は創造主や神が『時』を操作しやすいように

アクセルやらブレーキを設置して利用しているだけ

さらに後ろから追突してスピードを上げること出来るし

前から押して止めたり押し戻したりすることも可能だ

力の必要度は

《キングクリムゾン》>戻る方に跳ぶ 先に跳ぶ 戻す>止める

止める>遅くする>速くする 元に戻す》だ

キンクリに力が必要なのはさらに説明が必要だろう

『道路を谷折りしてそこに車を走らせているからだ』

・・・すごく短く纏まった

だが車に追突して速めるより難しい事は分かっただろう

難易度だけなら他の序列はそのまま止めるのが一番難しい

これは止めるには進む力と逆方向の同じだけ力を

使うので調整が難しいからである

まあ「時を操る能力」とかは

動画のスクロールバーを動かす

マウスみたいなものだからあまり関係ないが

やってることは同じだが霧先なら使用不可能に出来る

そして放つから霧先には効かない

通常即死：普通なら死ぬダメージを叩き込む

（HPが異常に高いキャラや

防御力が異常に高いキャラは即死しない）

ちなみにキサラギはそれに当てはまる

オーバーフロー即死：威力 のダメージを叩き込む

即死投げ：掴んだ相手のステータスを引き込み即死させる

『要は掴んだ相手そのものに干渉して即死させる

血液の流れ止めるとか逆流させるとか心臓潰すとか』

落下即死：落下した時のダメージを死ぬレベルまで倍増させる

『要は相手に働く重力を倍増させて即死させる』

即死当身：掴めない相手を無理矢理掴んで

ターゲット化し即死投げへ持ち込む

このターゲット化はどこにいても持続する（永続化も可能）

直死：こちらから相手のフラグに干渉し強制的に勝利にする

『要は審判に強制的に誤審させている

応用すれば相手のHPが残っていないようがいまいが

「死亡」の状態に書き換える事により

強制的に死亡させることも可能、蘇生で抵抗可能』

【永続ターゲット】

ターゲット化を永続化するバグのこと

【死の宣告】

規格外クラス以上にもなると

ターゲット化した相手を好き勝手出来る
それを用いて殺す技や魔法などの事を言う

【強制死の宣告】

死の宣告を相手が出来る状態で
相手に強制的に死の宣告をさせ

その後自分を蘇生

そうすることで一時的にターゲットが外れるので
死の宣告後に出来た隙を突いて即死させる事が可能

【変数リセット・変数弄り】

「HPを常に1000に保ちつつける」

という能力を持つキャラがいたとする

その能力を

「HPを常に0に保ちつつける」

にして自滅させたりする事出来る技や魔法などの事
大体は

「常にHPを10000ずつ回復させる」を

「常にHPを0ずつ回復させる」に変える事になる

人物設定・改（前書き）

変更多々

人物設定・改

名前：霧先 涼 種族：超越者 髪色：黒

身長：170cm 性別：男性 年齢：18歳

容姿：上の中（中性的だが髪の毛が短いので男性に見える）

趣味：いじり・いじめ

（例えばゲームで虐殺とかはするが隠れてネチネチとはしない
本人曰く「涙目が可面白い」とのこと

涙目を見るためにやっているだけなので陰湿なものはない）
おちよくり

（踏み込んでいい場所といけない場所は心得ている）
俺TUEEE

（チートは使わない本人曰く「チートは強さじゃない」とのこと）

好きな言葉：自由奔放・天衣無縫・責任・覚悟・勿体無い・気持ち
は0円

嫌いな言葉：正義・善・悪・当たり前・偽物

と言ってもこの言葉を使う奴が嫌いなのであって
言葉そのものが嫌いというわけではない

性格：S

だが踏み込んでいい場所と駄目な場所はわきまえている
本人曰く「表情がコロコロと変わるのが面白い」そうだ
表情を変えさせる以上の事はしない

解説：ズルは（絶対とは言えないが）しない

運も油断も実力の内「油断してたので死にました、だからもう一回」なんて事は言えないからである

相手に「やられた・・・」とか「負けた・・・」

とか思わせないと意味がないので相手が「ずるい！」という手は使わない

ハッピーエンド至上主義だがバットエンドでも良作は存在すると思っっている

後、なんだかんだ言ってもお人好しだが

自分を犠牲にするような真似は絶対にしない、というか出来ない
逆に言くと犠牲にならなければ色々やる

能力（力）：廃スペックだが特殊なものはなにもない

そして普段から全開にしているわけでもない

『完化』？

あれも特殊なものではなく条件さえ揃えば誰でも保有できるものがある

が、霧先以外に揃えた者は今居ない

能力（力以外）：殆どの知識と技術を保有している

記憶でも経験でもなく知識のみ

他の二つはこれから積み重ねてゆくだろう

名前：狭間 種族：世界と世界の狭間と呼ばれる世界の格

髪色：灰色 身長：180cm 容姿：上の上（研究者）

趣味：下界を覗いたり状況を掻き回したり

性格：以外に寂しがり屋さん

解説：本来『狭間』は下の世界を統合するだけの存在

その核がこの狭間、人型で人格を持つのは『狭間』の中では珍しい

能力：「『狭間』を司る程度」の能力とえばわかりやすいだろう

名前：ノルウ 種族：人間

髪色：赤・青・薄緑・黄色を全て混ぜた色 現在は緋色

身長：148cm 性別：女性 年齢：13歳

容姿：上の下（活発的）胸は発育途中

趣味：魔法と科学を使った遊び（最近は磁力と電気に嵌^{ハマ}っている）
性格：お人好し（幻想殺し並み）

好きな言葉：愛情・親愛・友情・暖かさ

嫌いな言葉：当たり前

解説：お人好しだった為か

霧先に騙されない方法を嫌というほど叩き込まれた

嫌いな言葉に「当たり前」が入っているのもミストの影響

かざかみ 風上
はやて 風斗 種族：超越者

趣味：楽しいこと

性格：基本的に明るく爽やか

好きな言葉：和・自由・笑顔・幸せ

嫌いな言葉：差別・悲しみ・不幸

解説：主人公みたいな性格

元の世界ではゲームをかなりやり込んでおり

その腕前は達人と呼ばれるほど、視力の低下は無い

流石に鬼畜ゲーはやっていない

名前：????? 種族：妖霊

この作品の次元の定義

1次元〓点

2次元〓面

3次元〓立体

4次元〓ずれ

(ずれである、3つの他にもう一つ軸がある感じ
とても解り辛いし説明も難しい)

5次元〓時間

6次元〓運命

(時間が進むスピードなら運命は進む方向)

7次元〓世界

(下記を参照するならこれは葉である)

8次元〓並列世界

(小さな変化の並列世界で交わる可能性がある)

9次元〓並行世界

(大きな変化の並列世界で交わる可能性はない)

10次元〓異世界

(変化どころか根本から違う)

上記の二つが枝分かれならこれは生えた木から違う)

1 1次元〓【管轄】

(8次元が木ならこれは木が生えた森)

1 2次元〓並列【管轄】

(狭間が生えている森なら

これは川で区切られた別の場所、行き来は簡単)

1 3次元〓並行【管轄】

(上記の【管轄】が同じ山の中だとしたら

これは別の山、行き来に手間がかかる)

1 4次元〓異【管轄】

(上記の【管轄】が同じ国の中であるとすれば

これは別の国に存在する【管轄】行き来にさらに手間がかかる)

1 5次元〓《区間》

(上記の【管轄】が同じ星の中にある森だとすると

《区間》は別の星、普通は行き来出来ない)

1 6次元〓並列《区間》

(上記の《区間》が同じ太陽系内だとすると

これは太陽系が違う、行き来は並み大抵のことではない)

1 7次元〓並行《区間》

(上記の《区間》が同じ銀河の中だとすると

これは違う銀河、行き来はもっと難しくなる)

1 8次元〓異《区間》

(上記の《区間》が同じ宇宙の中だとすると

この《区間》は別の宇宙、行き来はさらに難しくなる)

19次元『狭間』

(上記の《区間》を宇宙とすると

これはいくつもの宇宙を内包する存在)

20次元→今までの流れを無限に繰り返す

この作品の次元の定義（後書き）

【管轄】は同じ創造主が統べる世界

《区間》は違う創造主が違う世界

『狭間』は創造主を統べる奴
です

五感と第六感より先

五感はご存知の通り

触覚⇨熱冷・痛覚・麻痺

視覚⇨色彩・明暗・動作

味覚⇨甘味・酸味・塩味・苦味・辛味・渋味・旨味

嗅覚⇨味覚同様+臭み

聴覚⇨波長の長さ・波長の大きさ

の五つである

ここで書く第六感は感覚

感覚⇨喜・怒・哀・楽・勘・解放・達成・罪悪・善良・殺意
・保護・親愛・恋愛・友愛など

よって五感だけでは人間は成り立たず

第六感あってこそその人間だと思うのが筆者である

皆さんはこの六感についてどう思うか

それは人それぞれである

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n2852t/>

自作小説（？） 設定資料 ネタバレ注意

2011年11月13日09時49分発行